



ロン D. バートン  
2013-14年度国際ロータリー会長



# 高砂

No.9

Takasago Rotary Club

週報

## クラブ会長方針

### 【目 標】

- ・親睦を深め会員ご家族とのお付き合い
- ・ロータリークラブを今一度考えなおし、各委員会活動への理解を得る
- ・ロータリークラブの地域へのアピール

例 会 記 録 (2013. 9. 6 (金)) 通算2,956回

### ◆開 会

◆国歌斉唱 君が代

◆唱 歌 ロータリーソング (奉仕の理想)

◆「四つのテスト」唱和

### ◆ゲスト紹介

国際ロータリー第2680地区ガバナー 大室 備様  
 随行者 代表幹事 宝塚武庫川RC 大橋泰弘様  
 随行者 総務幹事 宝塚武庫川RC 中 和義様



### ◆来訪ロータリアン

高砂青松RC 青柳 淳会員  
 高砂青松RC 伊藤勝之会員



### ◆歓迎歌「松の緑」

### ◆プログラム予定

9月13日 (金)	9月20日 (金)	9月27日 (金)	10月4日 (金)
合同例会 於：ウェディングパレス鹿島殿 かみしばいA <sup>2</sup> 青木昭子様	卓話 伊藤長次郎会員	卓話 青年の家 所長 足立重之様	卓話 米山記念奨学会について 大村泰司会員

## ◆ご結婚お祝い

片嶋会長のお嬢様ご結婚御祝



井本副幹事ご結婚御祝



## ◆出席報告

本日	9月6日	会員数48名	欠席者11名	出席率73.81%
前々回	8月23日	会員数48名	欠席者0名	出席率100.00%

## ◆MAKE-UP

桂田 重信会員	高砂青松RC	9月4日(9月6日)
福島 弥一会員	e-CLUB	9月5日(9月6日)
川勝 厚志会員	e-CLUB	9月4日(9月6日)
川勝 厚志会員	e-CLUB	8月30日(8月30日)
川勝 厚志会員	e-CLUB	8月23日(8月23日)
後藤 純次会員	e-CLUB	9月4日(9月13日)
堀 直樹会員	e-CLUB	9月2日(9月6日)
丸山 恵右会員	e-CLUB	8月31日(9月6日)
丸山 恵右会員	e-CLUB	8月30日(8月30日)
堤 哲雄会員	e-CLUB	9月3日(9月6日)

## ◆お祝い

### ○出席100%祝

山本 広志会員	24年
大村 泰司会員	20年
荒川 俊雄会員	7年
濱崎日出夫会員	3年
田代 和幸会員	1年

### ○誕生日祝

濱崎日出夫会員
中尾 康三会員
福島 弥一会員



出席100%祝

田代 和幸会員

高木 史郎幹事

河合 利昭会員

○配偶者誕生日祝

山名 克典会員（幸子様）

中野 哲郎会員（千浪様）

○結婚記念日祝

竹内 正道会員



誕生日祝

◆S. A. A.（ニコニコ箱報告）

国際ロータリー第2680地区ガバナー大室様……心付けを頂いております。

片嶋 純雄会長……大室ガバナーをお迎えして。

高木 史郎幹事……大室ガバナー、随員大橋様、中様ようこそおこし下さいました。

山名 克典会員……大室ガバナーをお迎えして。

坂井 智代会員……大室ガバナー様本日のご訪問ありがとうございます。

井本雅也副幹事……本日は小生の結婚祝を頂きありがとうございます。

山本 広志会員……出席100%の祝を頂きありがとうございます。

大村 泰司会員……出席100%の祝を頂きありがとうございます。

田代 和幸会員……出席100%の祝を頂きありがとうございます。

河合 利昭会員……誕生日の祝を頂きありがとうございます。

高木 史郎幹事……誕生日の祝を頂きありがとうございます。

田代 和幸会員……誕生日の祝を頂きありがとうございます。

中尾 康三会員……誕生日の祝を頂きありがとうございます。

中野 哲郎会員……家内の誕生日祝を頂きありがとうございます。

山名 克典会員……家内の誕生日祝を頂きありがとうございます。

◆幹事報告（2,956回）

2012-2013年度社会奉仕委員会より実践講座DVDが届いています。

サンゴ植え付けダイビングの参加申込みの案内が届いています。（那覇西RC）

西宮RCより創立75周年の記念誌が届いています。

ロータリーの友の英語版の申込書が届いています。

相生RCより週報が届いています。

国際ソロプチミスト加古川より挨拶状が届いています。

東播磨青少年本部より賛助会員継続のお願いの依頼状が届いています。

兵庫県肢体不自由児者協会より「手足の不自由な子供を育てる運動」に協力依頼

## ◆会長の時間

今年の夏は、猛暑に続いて、豪雨となり、台風も熱帯性低気圧に変わりながらも多くの被害をもたらし、例年の夏の季節感とは違っておりました。さすがに今週はこの低気圧が去り秋らしい気候になって、風邪等ひかれないうように御注意下さい。

9月1日に高砂総合体育館にて、マーチング・イン高砂に出席させて頂きました。渡海衆議院議員、山本県会議員、登高砂市長も出席されており、保育園児から成人、大学生までのマーチングを見させて頂き、今年の夏の疲れを飛ばしてしまうかの館内一杯の演奏に感銘して参りました。小さなお子さんから、大学生の力強いマーチングまで2時間半を十分に堪能致しました。

本日は、大室2680地区ガバナーにお越しいただき、先ほどから御指導頂いておりました。この後、大室ガバナーのお話しをお聞かせ頂き、今後の高砂RCの運営のため皆様のお耳を傾けて頂ければと思っております。

今後、高砂RCのメンバーが力を合せて楽しいRCを今以上に築いていくことが出来ればと存じます。



片嶋純雄会長

## ◆本日のプログラム

### クラブアッセンブリー ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2680地区ガバナー 大室 備様

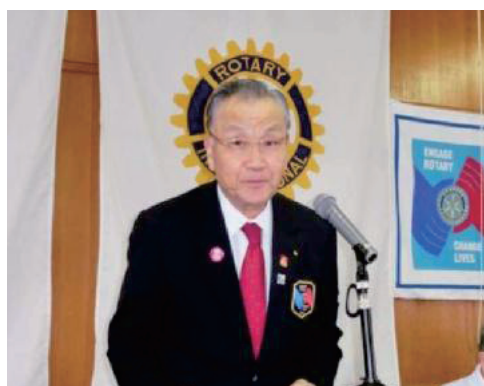
高砂ロータリークラブの皆様、こんにちは。  
国際ロータリー第2680地区ガバナー、宝塚武庫川RCの大室 備です。

先程、片嶋純雄会長さん、高木史郎幹事さんと親しく会長幹事懇談会を持たせていただきました。片嶋会長さんは、60年の歴史と伝統のあるクラブの会長さんとして、真に相応しい方です。

この会長さんを盛り立てて、ロータリーを楽しんでいただけましたら、高砂RCは、きっと大きな成果の上がる一年になることを確信いたしました。

そして、東播第2グループガバナー補佐 大西信良さんの当クラブに対する講評では、昨年度は、創立60周年記念式典を盛大に行われ、歴史と伝統を感じさせるクラブです。これからも、東播第2グループのリーダーとして、導いて頂ける事を期待いたしております。として、高い評価をされております。

私も、公式訪問報告書と今日の会長幹事懇談会から、高砂RCは素晴らしいクラブであると判断しました。



それでは、本題に入ります。

今回は、簡単な自己紹介の後、R I 会長ロンD・バートンさんのR Iのテーマの説明、そして私のロータリーに対する考え方をお話いたします。

私はロータリーに入って35年になります。

外科医で、職業分類は病院です。大学卒業後は、阪大病院、兵庫医大病院などを中心に市立芦屋病院、堺の大阪労災病院で勤務しておりましたが、38歳の時に父を亡くしまして、長男であった私が跡を継ぐことになりました。経営のことなど全く素人でしたから、まさに暗中模索の毎日でした。

そんな時に「新しいロータリークラブを作るから、入らないか」という誘いを受けまして入ったのが、今の宝塚武庫川ロータリークラブです。

チャーターメンバーは30名で、39歳の私は若い方から2番目でした。クラブの皆さんは、人生経験の豊富な人達ばかりでしたから、私にとっては一度にすばらしい兄貴や、親父が28人も出来たようなものでした。

すべてが手探り状態だった私にとっては、こうした多くの人生の先輩達との出会いが、大きな助けになりました。職業奉仕という言葉も、病院を経営していく上で大変新鮮でした。そして、ロータリーの心、特に4つのテストに沿って患者さんや病院スタッフに接してまいりました。

今振り返ってみますと、ロータリーがあったからこそ、この30年以上に亘り、充実した日々を送る事が出来たと思っています。そして今では、4つのテストが私の座右の銘となっています。

それでは、今年度のR I 会長ロンD・バートンさんについてお話しします。

バートンさんは、アメリカの弁護士さんです。1979年にオクラホマ州のノーマンロータリークラブに入会されました。4年後にクラブ会長、そして、入会して8年で早くも地区ガバナー、そのあとはR Iの要職、特にR Iの現在の路線、ポリオの撲滅・R Iの戦略計画と未来の夢計画の作成にこの26年間深く関わってこられました。

実はこんなバートンさんですら、「入会して1年半ほどで退会を考えた」と言われています。それは「昼食を兼ねた例会に出席するだけで、何のために貴重な時間を使っているのか」と大変悩まれたそうです。

そのことを入会を勧めてくれた人に相談しましたところ、それならロータリー財団の仕事をやってはどうかと言われ、翌年からクラブ財団委員長となり活躍をして行く中で大きく変わって行かれました。バートンさんは「ロータリーで何かを実行すれば、社会に大きな変化をもたらすことができる」と語っておられます。

そんなロン・バートンさんの今年度のR Iテーマは“Engage Rotary, Change Lives” “ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を”です。

バートンさんはこう語っています。

「ロータリーに真に打ち込めば、その人の人生は変わっていくでしょう。そして、ほかの多くの人々の人生も変わります。しかし、最も人生が変わったのは、ロータリアンあなた自身なのです。」

バートンさんはこうも言っておられます。「ロータリーを実践するとは、ロータリーの奉仕活動に関わることです。ロータリーの奉仕活動には色々あります。それは五大奉仕のすべてです。」つまり、クラブ奉仕や職業奉仕も含んでいることを示しています。そして、このテーマの私の解釈は、“Engage Rotary, Change Lives” は、ロータリーの奉仕の哲学を具体的に表したものです。

まず最初の句「ロータリーを実践し」の Engage Rotary はロータリーの哲学の第1モットーである「超我の奉仕」“service above self”を表しております。全句では、第2モットーである「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」シェルドンの提唱した“*They profit most who serve best*”を表します。そして、第2モットーの中の profit とは本来、利益を得る という意味ですが、ポール・ハリスも「この場合の profit とは、ドルでもセントでもない。それはお金には代えられない、人生における something なのだ」といっています。

つまり、心豊かになる、幸せになる、人生における大切なものということです。本当に素晴らしいテーマです。

今年度のテーマピン、テーマフラッグの公式の説明は、

赤：はバートンさんの出身校オクラホマ大学のスクールカラー、バートンさんからもらった、私の締めているネクタイは、今年度の公式ネクタイですが、同じくオクラホマ大学のスクールカラーの赤です。

青：はオクラホマの澄みきった青空をイメージしたオクラホマ州の州旗の青い色を表しております。

中央はロータリーマークをロータリアンが Engage する様子が描かれています。Engage とは、本来、婚約する、約束する、取り組むという意味ですが「歯車をはめ込む」「歯車を回す」という意味もあります。

そして、このフラッグは、ロータリアンは大勢の人々の人生をより豊かなものに変えることを表しています。ということです。

さて、ロータリーの今年度は大きな変革の年であると同時に、ポリオ撲滅に向けてのラストスパートの年であると言われています。

まず、ポリオについて述べます。

ロータリーのポリオへの取り組みは、ポリオプラスプロジェクトとして26年前に本格的に始まりました。バートンさんはその時のガバナーエレクトでした。そして先程述べましたように、ずっとポリオに関わってこられました。バートンさんは、今年度のRI会長として、自分の年度には、ポリオを絶対撲滅させるのだと、強い決意を表しておられました。

確かに26年前は、世界中の多くの国々で 毎年35万人もの子供がポリオに苦しみました。私達の26年間の努力の結果、やっと昨年1年間で223人にまで減りました。今年に入ってからのは発生は8月20日現在192人です。昨年を超す発生です。これは、昨年までの常在国のアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアは71人と減っておりますが、今年に入って新たにアフリカ東海岸のケニア12人、エチオピア1人、そして、ソマリアで新たに108人ものは発生があったからです。皆さんご存知の通り、ソマリアは今、無政府状態に近く、海賊が横行しているところです。

どうして、アフリカ大陸の西海岸から遠く離れた東海岸で発生したのかわかりません。ポリオウイルスは感染しても10%しか発病しません。それも、少し熱が出る程度で済みます。障害を残す人はその中でもごくわずかです。つまり、健康保菌者が沢山いるということです。誰が菌を持っているのか解りません。それが、ポリオウイルスの撲滅を難しくしているところです。あと少しです、と言われてはいますがなかなか難しいですね。

天然痘は、地球上から完全に撲滅出来ましたが、感染すると殆どの方が発病します。この人

達を治療すれば良いのです。ですから、ポリオに比べ地球上から容易に撲滅出来ました。ポリオウイルスの特性からすると、放置しておきますと、直ぐに元の状態に戻ります。私達にはあとまだ数億ドルあるいは、それ以上のお金が必要であるとも言われています。一層のご協力をお願いします。

そして、今年度のロータリーには大きな変革が3つあります。それは、

- 1 未来の夢計画が全世界のクラブでスタートしたこと。
- 2 R I の戦略計画の見直し
- 3 規定審議会での定款・細則の見直しです。

まず、未来の夢計画ですが、これには、ロータリー財団が2017年に100周年を迎えるにあたり、私達がより取り組みやすく、私達の財団と実感できる様、様々な工夫がなされています。

これは、100のパイロット地区で3年間実施されましたが、97の地区から大変よかった、クラブが活性化したと高い評価を得ております。つまり、97%の地区が素晴らしいと評価しました。

また、未来の夢計画は今年、アメリカでエジソン銀賞を受賞しました。エジソン賞とはあの発明王トーマス・エジソンにちなんだ賞です。未来の夢計画は、人々の生活を画期的に変える仕組みであると評価されたことが、受賞の理由です。つまり、ロータリー以外の世界でも高く評価され、賞賛された訳です。

ですから、未来の夢計画は素晴らしいものであると自信を持ってこれからも取り組んで下さい。

次にR I 戦略計画の見直しですが、今のR I 戦略計画は2010-13年版です。今年の7月には見直しが行われると聞いておりましたが、まだ発表されておられません。規定審議会で多くのことが変わりましたから、現在訂正中であると思われます。

私は、このR I 戦略計画は本当に良く出来ていて、ほぼ完成に近いものではないかと思っております。ロータリーの108年の歴史で、変わってはいけない部分をしっかりとふまえており、国際ロータリーが作った立派な組織文化論であると思っています。

内容については、今年の5月のクラブ奉仕のセミナーで、南園義一R I 元理事にお話していただきましたので、省略します。

そして3つ目は、今年4月規定審議会が開催されて、定款・細則が見直されたことです。200近い案件が出ておりましたが、これと思われるのを1つだけ紹介します。

13-43 2013年規定審議会の43番目の案件ということを表していますが、仕事をしたことが無い人、または中断している人を正会員として認める件、つまり、専業主婦も入会させようということです。フランスから来た案件です。これがなんと359対165の大差で通りました。本当にロータリーも門戸が広がったといえます。

その他、詳細は2013年規定審議会報告書をお読みください。これらは、すべて、この7月1日からクラブでも取り入れなければいけないことになっております。

次に、私の運営方針を述べます。

今、特に当地区で今やらなければいけない大きな問題は、3つあります。

1つは会員の増強です。バートンさんは、こんなことも言っています。「高校時代、私は、国

際キワネスクラブの青少年プログラムで、キークラブで活発に活躍していました。当然自分は、キワニアンになると思っていました。しかし今日、国際キワニスではなく、国際ロータリーの会長エレクトとしてここに立っています。これは何故だかわかりますか。その理由は、誰もキワニスクラブには誘ってくれなかったからです。私を誘ってくれたのは、ノーマンロータリークラブでした。今日、ここに居るのは入会を頼まれたからです。ですからまず、声を掛けることです。会員増強は他の誰の仕事でもありません。私達会員一人ひとりの仕事です。私達に与えられた仲間を増やすチャンスなのです。」と。私もその通りであると思います。

皆さん、是非このチャンスを生かしてください。

今年度7月1日の地区の会員数は、2,854人です。昨年の7月1日に比べ45人減っています。地区目標でありました3,000人に対し146人も足りません。各クラブ1名以上とお願いしていましたが、ここに来て、2名以上の増員を図って頂くことをお願いいたします。

そのためには、若い人、女性をターゲットにしてください。

また、青少年プログラムから将来のロータリアンを育てる、つまり、私達が青少年のプログラムからロータリーの会員を作るということです。いい種を見つけて蒔かねばなりません。

そして、ガバナーの任務には拡大があります。Eクラブも含めまして、新しいタイプのクラブの結成を目指しています。以上が、会員の増強と拡大についてです。

そして2つ目は、新しいソーシャルメディアの活用によるロータリーのブランディングと公共イメージの向上です。特に若い人は、新しいソーシャルメディアでつながっています。ロータリークラブでもこれを活用してください。

3つ目は、寄附金についてです。ロータリー財団と米山記念奨学会への日本の今年の一人当たりの寄附の実績は、平均ロータリー財団が13,739円、米山は15,046円となっております。そこで当地区でも、それぞれ一人1万5,000円以上をお願いしております。高砂ロータリークラブの皆様も、ご検討ください。

ロータリー財団でよく言われる言葉です、「お金があってもロータリーの奉仕活動は出来ない、しかしお金がなければ何もできない。」まさにその通りです。どうか今年度も沢山ご寄付いただき、いいプロジェクトをどんどん計画してください。

そして、次に、ロータリーの多様性について述べます。

ポール・ハリスの作った初期のロータリーは、先程お話ししました通り、同じ考えを持った、同じ様な人を会員としました。そして、職業にだけに多様性を求めました。

しかし、今ロータリーはすべてに多様性を求めています。ロータリーにはいろいろな考え、種類の人が、居ていいのです。ロータリアンはすでに社会のリーダーです。みんなそれぞれにすばらしい素質、資質を持っています。

しかし、いかに優れた人であっても、受け入れ難い部分を持っているかも知れません。こんな時、ロータリーでは、その人の良い点、尊敬できる部分のみに目を向けて、共にクラブライフを楽しみましょう。ロータリーの寛容の精神で！！

ポール・ハリスも「ロータリーは、私の少年時代のニューイングランドの人々の特性であった、寛容と善意と奉仕の精神から生まれたものである。」と“ロータリーへの私の道”の中で語っています。この寛容の精神こそ、会員の維持にもつながる、一段高いロータリークラブのあり方ではないかと考えています。



そして、私たちのロータリー人生はマラソンと同じです。山もあり、谷もあります。リズムが必要です。急ぎすぎて息切れしてはいけませんし、ましてやリタイアや棄権はいけません。職業人である私たちは、私たちの生活の中の一部としてロータリーに関わっていくべきです。今の自分に出来ることは何なのかをよく知って行動することで、自分自身が、そして周りの人々が大きく変わっていく喜びを実感していただけたと思います。

これが“ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を”に繋がっていきます。

さて、2014年来年3月1日、2日とポートピアホテルで地区大会が、そして、6月1日から4日間、シドニーで国際大会が開かれます。いずれにも、高砂ロータリークラブの皆様の、多数のご参加をお願いいたします。

今、私は、少しもぶれることのないバートンさんを尊敬し、大変好きになっております。そのバートンさんの言葉を皆様に最後にお贈りいたします。「ロータリーの奉仕活動は、私達一人ひとりから始まるのです。そして皆さんは、ロータリーの襟ピンを身につけることを選択しました、これからどうするかは、皆さん次第です。」

ご清聴ありがとうございました。

#### ◎閉会前



